

市立2病院の経営状況を踏まえた今後の対応方針

1. 市立2病院の経営状況

- ◆ R6は▲24億円で過去最大の赤字見込み。この状態が続くと、内部留保資金や現金の急減で、令和7～8年度には、退職給付引当金を使用してもなお資金ショートに陥るという危機的な状況
- ◆ 社会情勢の変化のほか、構造的な赤字体質の存在、経営一体化・民間活力を含めた抜本的な経営改善の遅れが、今回の事態の一因

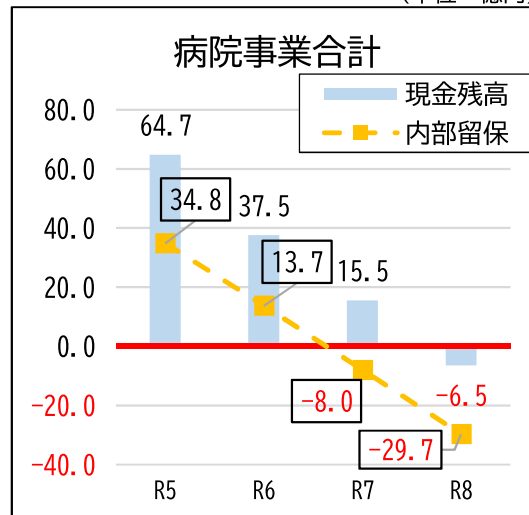
●令和6年度決算見込み

(単位：億円)

	長浜病院	湖北病院
医業収益	140.7	20.5
医業費用	160.0	29.3
医業収支	-19.3	-8.8
医業外収益 (市繰入金等)	8.6	7.3
医業外費用	9.4	2.3
経常損益	-20.1	-4.0
(参考) R5 経常損益	(-8.7)	(-2.7)

●現金・内部留保資金の見通し

(単位：億円)

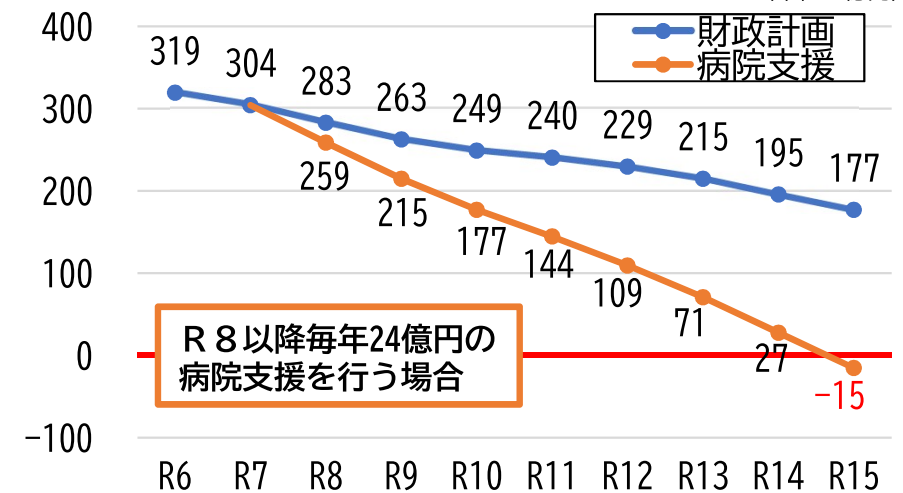


2. 市の支援が必要となった場合の影響

- ◆ 基金残高はR15年度に現行の半分程度まで減る見込み
→ 病院への経営支援を要すると、枯渇の可能性

●長浜市(一般会計)の基金残高の見通し

(単位：億円)



3. 今後の対応方針

- ◆ 病院の経営悪化を市が支援する場合、市財政に深刻な影響。福祉・教育などの市民サービスや道路・学校などの施設整備等、市政全体に影響が及ぶ可能性
- ◆ 病院経営が成り立っているという前提条件が著しく変化するという緊急事態であり、病院再編については、市立病院の規模や在り方も含めた再検討が必要
- ◆ 再検討にあたっては、①市民生活への悪影響を最小化できる市立病院の規模や在り方、②地域医療を維持するための病院再編、について最適解を早急に見出す必要
- ◆ 病院事業には、抜本的な経営改善策の検討を求める。また、今後、市立病院の規模や在り方及び病院再編等について広く英知を集めながら、市と病院事業が全面的に協力して、具体的な検討を進めていく